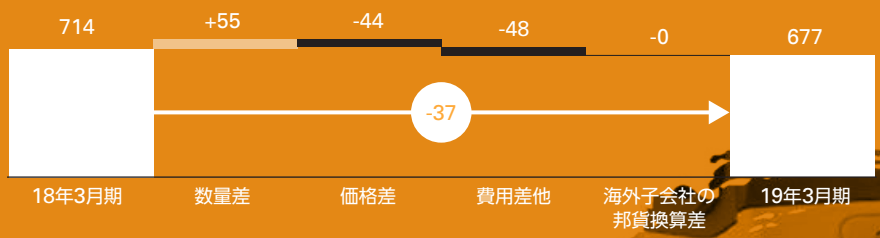
基幹事業・戦略的拡大事業

機能化成品

	2017	2018	増減率	2019(見通し)
売上高(億円)	8,033	**8,688**	+8.2%	9,350
営業利益(億円)	714	**677**	-5.1%	810
営業利益率	8.9%	**7.8%**		

営業利益増減(億円)



売上高
8,688億円

営業利益
677億円

営業利益率
7.8%

ROA
(営業利益／総資産)
6.9%

基本方針

- 成長分野での高付加価値品拡販とグローバル拠点のフル活用による事業拡大
- 事業構造改革による収益基盤強化

収益機会とリスク

- 地球環境問題や資源・エネルギー問題の解決に貢献する先端素材に対するニーズの高まり
- 電気自動車を含む自動車、液晶テレビ、スマートフォンなど最終製品の需要動向及び各種部品の技術動向の変化
- 原燃料価格の動向

中期経営課題“AP-G 2019”達成に向けた事業戦略

■樹脂・ケミカル事業

- PPS樹脂、海外コンパウンド、自動車材料などの拡大事業への経営資源投入、事業拡大推進

■フィルム事業

- リチウムイオン・バッテリーセパレータフィルムの設備投資、製品開発による拡販推進
- PETフィルムの生産体制再編、グローバルオペレーション活用による高付加価値化推進、拡販推進

■電子情報材料事業

- 有機EL関連材料の拡販、ポストディスプレイ分野における技術開発・事業化の加速

2019年度見通し

- 樹脂事業では、ABS樹脂は高機能品の拡販、エンプラは自動車用途等への拡販を推進
- フィルム事業では、バッテリーセパレータフィルムやMLCC離型フィルムなどの成長分野での拡販を推進
- 電子情報材料事業では、有機EL関連材料や回路材料などの拡販を推進

トピックス

01

マレーシアでABS樹脂「トヨラック®」の生産能力増強

Toray Plastics (Malaysia) Sdn. Berhad(TPM)で製造・販売するABS樹脂「トヨラック®」の生産能力増強を決定しました。独自の連続重合生産プロセスによるコスト競争力の高さや品質安定性から、世界シェアNo.1の地位を確立している透明グレードの拡販に向けて、年産75千トンの生産設備を増設し、2020年11月の稼働開始を目指します。これにより、TPMの生産能力は年産42.5万トンとなり、既存の東レ千葉工場と合わせて東レグループ全体の生産能力は年産49.7万トンまで拡大します。

ABS樹脂は、軽さ・強さ・美しさを併せ持つ加工性に優れたプラスチックで、工業用品から家庭用品まで幅広い用途に使用されています。2018年のABS樹脂全体の世界需要は900万トンで、中国やASEAN、新興国の需要増により、年率3%の安定成長が見込まれます。特に、透明ABS樹脂や、耐熱性・耐薬品性などの機能が付与された高機能ABS樹脂の2018年世界需要は210万トンと推定され、家電・OA・自動車・玩具など幅広い用途における高機能化要求の高まりにより、年率4%以上の成長が予測されます。

マザー工場の千葉工場では、医療用透明ABS樹脂など高機能ABS樹脂主体の品種構成へのシフトを加速する一方、今回のマレーシアでの増強により、中国、ASEAN市場に加えて、欧米やインド市場への参入と用途拡大を積極化していきます。

02

米国でポリプロピレンフィルム「トレファン®」の生産能力増強

Toray Plastics (America), Inc.(TPA)が製造するポリプロピレンフィルム「トレファン®」の生産能力増強を決定しました。TPAロードアイランド工場に年産30,000トンの生産設備を増設し、2020年からの稼働開始を目指しています。

トレファン®はプラスチックフィルムの中で最も軽く、透明性・強靱性・保香性に優れたフィルムで、一般工業用・コンデンサー用・包装材料用などに広く利用されており、TPAは北米の高付加価値包装材料市場において高いシェアを有しています。

北米における二軸延伸ポリプロピレンフィルム市場は、人口増加に伴い年率3%の持続的な成長が見込まれます。その内、食品包装市場では、スナック、菓子、シリアルバー等の健康食品など、食品のロングライフ化や包装デザインの多様化が進んでいます。 今回の生産能力増強は、こうした顧客ニーズの多様化、高度化に対応するべく実施するものであり、TPAでの早期の生産能力拡充により、さらなる事業拡大を目指します。